

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏 郎

幹 事 加藤 昭 治

メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

第1496回例会

平成27年11月24日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016 年度

国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016 年度国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

東 堂 明

◎起 立	板倉利男 S A A
◎友情の握手	板倉利男 S A A
◎点 鐘	上野敏郎 会 長
◎開 会 宣 言	板倉利男 S A A
ロータリーソング	「我等の生業」
◎会 食	

会長挨拶

上野敏郎 会長

皆さん、こんにちは。

今日のプログラムは、過日、班別に行われた「情報集会」の報告です。楽しい時間の中で有意義な意見交換が行われたことと思います。楽しみにしたいと思います。

さて、先週の例会での挨拶と重なりますが、11月は「ロータリー財団月間」です。今月の『ロータリーの友』に、詳しくこの月間の記事が掲載されています。

- 地区イベントの収益金で、カンボジアのある地域に、井戸17本、トイレ40ヶ所を提供した話。
- ブラジルの病院にやけど治療器を寄附した話。
- 台湾の山岳地の住民に無料健康診断と健康管理教育指導を実践した話。



等々、日本国内のあるロータリークラブの具体的な奉仕活動が、ロータリー財団事業プログラムとの関わりの中で紹介されています。この11月号には、2015-16年度ロータリー財団管理委員長のレイ・クリンギン、スミスさんが、『11月が「ロータリー財団月間」である理由』というタイトルで原稿を寄せています。それを一読したのでありますが、昔は、「月間」ではなく「週間」であったこと、そして、多くのクラブでは、財団週間中の例会の食事のコストを抑えて、節約した分を財団にクラブとして寄附していたこと等の情報を紹介しています。

いつから、クラブではなくロータリアン個人の寄付に変わったのかは書いていませんが、クラブとして寄附する方法は、財団寄附を向上させるには効果的であったと分析しているようです。いずれにしても、寄付の意味や額の多い、少ないもロータリー活動では重要ですが、レイ・クリンギン、スミス財団管理委員長が言うように、11月は、財団月間を通じて、それぞれのクラブが、そしてロータリアンが、お互いに啓発し、よりよい世界を築くために具体的な支援を続けるロータリークラブとして、その伝統を継承することを改めて知る月でありたいものだと思います。以上申し上げ、「情報集会」の報告に期待しながらの会長挨拶とします。

ありがとうございました。

会務報告

加藤昭治 幹事

- ◎12月1日 年次総会が開催されます。
- ◎12月15日 18時30分より年末家族会が開催されます。
- ◎米山奨学会感謝状贈呈 上野会長へ贈呈。



ニコニコ献金

親睦活動委員会 池田 誠 副委員長



<11月10日分>

- **上野会長** 11月2日、来年度の新しい園児の募集が始まりました。おかげ様で目標人数を確保できました。来年の4月は定員を十分に満たしてスタートできます。よってニコニコします。
- **高橋副会長** 添乗でイギリス・ロンドンに行って参りました。
- **加藤幹事** 50年間、付き合ってきた、水虫が、今日医師から完治宣言。ニコニコします。
- **板倉会員** 先週「高野山」に行ってきました。
- **神田会員** 誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- **齊藤会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- **宮前会員** 会員全員の会費が半期分納められました。ありがとうございます。結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- **古川(直)会員** ついに風邪をひきました。皆様にうつさないように!!
- **池田会員** 先週、明治記念館で日本消防設備安全セン

ターの理事長表彰をいただきました。

- **越浦会員** 10月25日に当金庫が創業90周年を迎えることができました。ひとえに皆様のおかげです。ニコニコします。

<11月17日分>

- **上野会長** 8月11日、突風の被害を受けた事務所の看板が、今日新しく設置されました。新しい気分で仕事ができそうです。ニコニコします。
- **加藤幹事** 来年1月迄のプログラムの予定が決まりました。委員長の皆様に感謝します。
- **板倉会員** 東京「はとバス」に乗りスカイツリーに登りました。
- **加藤(雄)会員** 瞼の手術をして2ヶ月経ちました。もうしばらくサングラスで失礼します。
- **深澤会員** 本日は青少年奉仕ローターアクト委員会の担当です。宜しくお願いします。
- **加藤(武)会員** 母の葬儀では大変お世話になりました。ありがとうございました。
- **金丸会員** 誕生日に記念品を頂き有難うございました。

<11月24日分>

- **上野会長** いきなり、本格的な雪が降ってきました。帯広らしい冬の予告を受けとめてニコニコします。
- **板倉会員** 雪が降りました。皆様安全運転を!
- **大塚会員** 1年の豊穣に感謝して!
- **齊藤会員** 本日の例会は会員増強プログラム・ロータリー情報委員会担当です。宜しくお願い致します。
- **宮前会員** 配膳のおばちゃんとのダンスをしているいい写真を撮られてしまいましたのでニコニコします。
- **西田会員** 知らない間にこんなのやら、あんなのやらの写真が...
- **城戸会員** 道が悪くなりますが、皆さん運転お気を付け下さい。

出席報告

相澤和彦 出席プログラム委員長

10月20日(火) 第1492回例会

会員数	40名
計算に用いる会員数	32名
ホームクラブ出席者数	25名
メーキャップ者数	1名
出席率	81.3%



10月27日(火) 第1493回例会

会員数	40名
計算に用いる会員数	34名
ホームクラブ出席者数	24名
メーキャップ者数	3名
出席率	79.4%

◎10月の出席率 79.3%

11月10日(火) 第1494回例会

会員数	39名
計算に用いる会員数	31名
ホームクラブ出席者数	22名
メーキャップ者数	1名
出席率	74.2%

11月24日(火) 第1496回例会

ホームクラブ出席者数	24名
------------	-----

プログラム 会員増強・ロータリー情報委員会 齊藤蓮輝 委員長

<情報集会報告>



◎第1班

報告者 板倉利男 会員

当会、最長老の福岡氏から自分がロータリーから得た物は計り知れない。会員だったからこそ人間関係の広がりもあり、多くの知識も得た。その中で得た最高のものは、「四つのテスト」だ。これを実践すれば人生豊になり幸せになれる。絶えず自分の目標に向かって挑戦するこ

とこそ人生であり、男の生き甲斐でもある。人生経験豊かな福岡氏だからこそその説得力ある内容のお話だった。

我々はこうした身近に大先輩たる大先輩がおられるのだから、もっともっといろいろな人生経験を学ばなければならない。当会には、13年会という個性ある人たちの同年会がかつてあった。入会后それぞれが知り合い、同年と言うことで友情を深めていったのである。

ついには家族同伴での食事会にまで発展した。一家言持ったそうそうたるメンバーで、ここの承認なしにはスムーズな会運営が出来ないとまで言われたほどである。

それぞれがもっともっと努力することで、お互いの友情を深めお互いを理解することが即ちロータリーを理解することであり、それを極めることによって個々が全体が「ロータリーを楽しむ」事に直結するのではないか。

「楽しむ」とは何事も一途に懸命にやらなければ達成感も得られず、満足感もない。四つのテストを始め、内容のあるスローガンは山ほどある。人はそれらをいくつ知っているかではなく、何を行動したかで評価される。経営者の集まりであるからには、誇りと責任を持たなければならない。以上のことを成し遂げた人が心からロータリーを楽しんだと言えるのだろう。



◎第2班

報告者 大塚正昭 会員

- 楽しい例会とは夫々のクラブが工夫をし最高責任者として会員が楽しさを感じてもらっているか、そこには単なる同好会的でなく目的意識をもって活動することも必要。又、外の情報人脈をもつ事でクラブの繋がりパイプも太くなりクラブの活性化にもなる。



- 地区役員の恒久化の良し悪し、地区役員として外で活動しているが他(分区)クラブに得るものがあるのか還元されるものがあるのか、例として米山記念奨学委員会、地区委員長、本部役員理事、他に次期ガバナー問題で3年後帯広の可能性あり、今から心の片隅にとどめておく必要がある。特に若い会員に期待している。

- 辞める理由として、人間関係、健康、事業があり、自分次第でロータリーを楽しめると思う。特に人間関係で辞めることは寂しい限り。
- 例会より仕事を優先し、ロータリー活動をする。ロータリーは平等であり、先輩に対して敬意を持つこと。

◎第3班

報告者 加藤雄樹 会員

- 地区大会はロータリーを理解するためにはぜひ参加すべき。特に新入会員は参加することで、理解が深まり楽しくなる。
- 異業種の集まりなので、それぞれの持ち場で社会貢献する。
- 新しい人が会に溶け込みやすくすることが大切。
- 楽しめる例会、行きたくなる例会。東RCの特色を出すことで社会にアピールできる。
- 欠席がちな会員に資料やプレゼントを直接届ける。
- 委員会の継続性。副委員長が次年度の委員長になるのが良い。
- 参加することでいろいろ吸収できる。必ず副→正は必要ない。
- 初めて委員長になったが委員長は楽しい。勉強になる。
- いろいろな経験が自分にプラスになる。
- 例会で話すことは楽しい。お互いが利用しあうことは良い。
- 入会してすぐに先輩に酒を勧められてうれしかった。
- ロータリーの友は読むと楽しい。
- メーキャップは義務じゃなく権利だ。
- ロータリーを楽しもうとするモチベーションが大切。



◎第4班

報告者 益子裕之 副会長

- ロータリーを学び、色々な経験を通してロータリアンとして成長しよう
- クラブ奉仕において自分の役割を良く理解し責任を

もってやり通す
→特に年数の浅い会員にとっては色々な経験が必要
→年数の浅い会員にとっては大いに声をかけて指導して欲しい(この事が勉強になる)
→経験することでロータリーが少し解



- 各委員会の活動は継続性を持った流れにしてほしい
→活動の理解を深め、円滑な委員会活動を促す
→ロータリーへの理解が深まる
- 例会の中で楽しいと感じられる例会がどの位？ここに行きたい！こんな話を聞きたい！こんな例会をつくりたい！
→そういう視点で話し合うことも必要ではないか？
→東ロータリークラブといえば「●●●」と言われる伝統をつくりたい
→スポーツであったり、文化であったり(考えてみよう)
- 地区大会はロータリーの一大イベント、ロータリアンとして参加する意識を高めよう
→アナウンスを広め、一大イベントとして取り扱うべき！
- ロータリーバッジに恥じない行動と、ロータリアンとしてのプライド、常に会員増強を念頭に入れ活動する
→他のクラブや地域の人達からどのような評価があるか、自ら検証し会員増強に努める
- 東ロータリークラブ全体で相互理解を深め、気配りし一体となって「公共イメージ、認知度向上」に取り組む
- 「もっとロータリーを楽しもう」「ロータリーをもっと知ろう」から始まり、「相互理解を深め、役割と責任を理解し」
→その先にロータリーの楽しみがある
→その事が会員増強とクラブの発展の土台となることでしょう！

◎閉会宣言

板倉利男 S A A

◎点 鐘

上野敏郎 会 長

次週プログラム

理事会

12月1日(火) 「年次総会」 会長ノミニー・次年度役員選出